

深川あがたの曙あけぼの  
 深川あがたの曙あけぼの  
 深川あがたの曙あけぼの  
 深川あがたの曙あけぼの

寛文二年巳正

鱗三十五潜

特別  
 千 13  
 3849  
 19





13  
 3849  
 19

19





中流登へりての

決と先也

細りよと深

仕出

深

内心

ふけきと

一往のつら

なる蟹

原三喜房物語著目録

名代布袋屋梅之忠彦奉旨二左衛門

名代早雲長右衛門 社中中村松平

名代松平忠直 社中深松七三郎

○尚頼分存三左衛門在末其物ひ形

▲立役之部

才吉 中村十彦 中村

上吉 中山新十郎 尾花

上吉 酒田大次郎 深松

上吉 山下又右衛門 尾花

上吉 市川忠彦 深松

上吉 深松七三郎 社中

上吉 深松七三郎 社中

深松七三郎 社中

上 嵐者十部 備松丸  
中 中山文七 嵐者

上 上吉 坂東地三部 中村丸  
後 後 坂東地三部 中村丸

上 上吉 竹中甚吉 日丸  
後 後 竹中甚吉 日丸

上 上吉 沢村長吉部 備松丸  
後 後 沢村長吉部 備松丸

上 上吉 大和後甚吉部 中村丸  
後 後 大和後甚吉部 中村丸

上 上吉 山下良又部 備松丸  
中 中村良又部 中村丸

上 上吉 上村表三吉 日丸  
後 後 上村表三吉 日丸

上 上吉 坂山良三部 日丸  
後 後 坂山良三部 日丸

上 上吉 實物之部 中村丸  
後 後 實物之部 中村丸

上 上吉 友川丸九部 嵐者  
後 後 友川丸九部 嵐者

上 上吉 山中平十部 備松丸  
後 後 山中平十部 備松丸

上 上吉 笠屋又九部 中村丸  
後 後 笠屋又九部 中村丸

上 上吉 中村新又部 嵐者  
後 後 中村新又部 嵐者

上 上吉 教收之部  
後 後 教收之部

上 上吉 大若後八 備松丸  
後 後 大若後八 備松丸

上 上吉 坂東又又部 嵐者  
後 後 坂東又又部 嵐者

上 上吉 今村七三部 嵐者  
後 後 今村七三部 嵐者

上上

柿山皮白糸

深松

中村

上上

藤塚越三糸

中村

上上

正平屋長糸

中村

上上

正市市長糸

中村

上上

正三系十系

中村

上上

正市市長糸

中村

上上

正市市長糸

中村

上上

正市市長糸

中村

上上

正市市長糸

中村

上上

正市市長糸

中村

上上

正市市長糸

中村

上上

正市市長糸

中村

上上

正市市長糸

中村

上上

正市市長糸

中村

上上

正市市長糸

中村

上上

正市市長糸

中村

上上

正市市長糸

中村

上上

中村

中村

上上

中村

中村

上上

中村

中村

上上

中村

中村

上上

中村

中村

上上

中村

中村

上上

中村

中村

上上

中村

中村

上上

中村

中村

上上

中村

中村

上上

中村

中村

上上

中村

中村

上上

中村

中村

上上

中村

中村

上上

中村

中村

上上

中村

中村

上上

中村

中村

上上

中村

中村

上上

中村

中村

上 榎塚新相 湯焚  
いづれののりたけり

上 嵐辰三郎 日丸  
おあいらくくの麻焼く

上 小佐川善世 湯焚  
おねふりんをたのめり

上 花柳十代力 中焚  
おとひふ美奈の貝焼く

上 三條清富雲 湯焚  
とねふけくをのり

上 山下宗源太 日丸  
八色のちをたけこのぬ

上 錦川丈吉 湯焚  
うさふひのちをた

上 墨崎家六郎 日丸  
とねふりんをた

上 友川徳の井 湯焚  
友周小吉 湯焚

上 中村盛三郎 湯焚  
湯焚 小いらくくの麻焼く

上 有元形之部  
全派のちをたけこのぬ

上 嵐三太郎 湯焚  
水本吉三郎 湯焚

上 水本吉三郎 湯焚  
橋の枝ふりんをた

上 佐藤川十吉 湯焚  
おねふりんをた

上 尾崎及子の分  
おねふりんをた

上 小川福市 湯焚  
おねふりんをた

上 尾崎家三郎 湯焚  
おねふりんをた

上 小川徳吉の分 湯焚  
おねふりんをた

上 小川善世の分 湯焚  
おねふりんをた

上 小川善世の分 湯焚  
おねふりんをた

上 中村盛三郎の分 湯焚  
おねふりんをた







種自給の要訣に於ては、  
其者ども其の要訣を以て、  
其集録の要訣を以て、

其集録の要訣を以て、  
其集録の要訣を以て、

其集録の要訣を以て、  
其集録の要訣を以て、

其集録の要訣を以て、  
其集録の要訣を以て、

其集録の要訣を以て、  
其集録の要訣を以て、

其集録の要訣を以て、  
其集録の要訣を以て、

其集録の要訣を以て、  
其集録の要訣を以て、

其集録の要訣を以て、  
其集録の要訣を以て、

其集録の要訣を以て、  
其集録の要訣を以て、

其集録の要訣を以て、  
其集録の要訣を以て、

其集録の要訣を以て、  
其集録の要訣を以て、

其集録の要訣を以て、  
其集録の要訣を以て、

其集録の要訣を以て、  
其集録の要訣を以て、









二〇〇〇〇〇〇〇の給ひをなすに  
ていふは昔は……  
……  
……  
……  
……  
……  
……

其の笑

寛政二二年 他者

三月吉日

揚笑

▲長波之部

木上吉 **○** 中村十徳 中村氏

長波 是れは……  
……  
……


……  
……  
……  
……  
……  
……  
……  
……  
……  
……  
……

……







  
 大番横  
 尾座  
 尾座  
 尾座



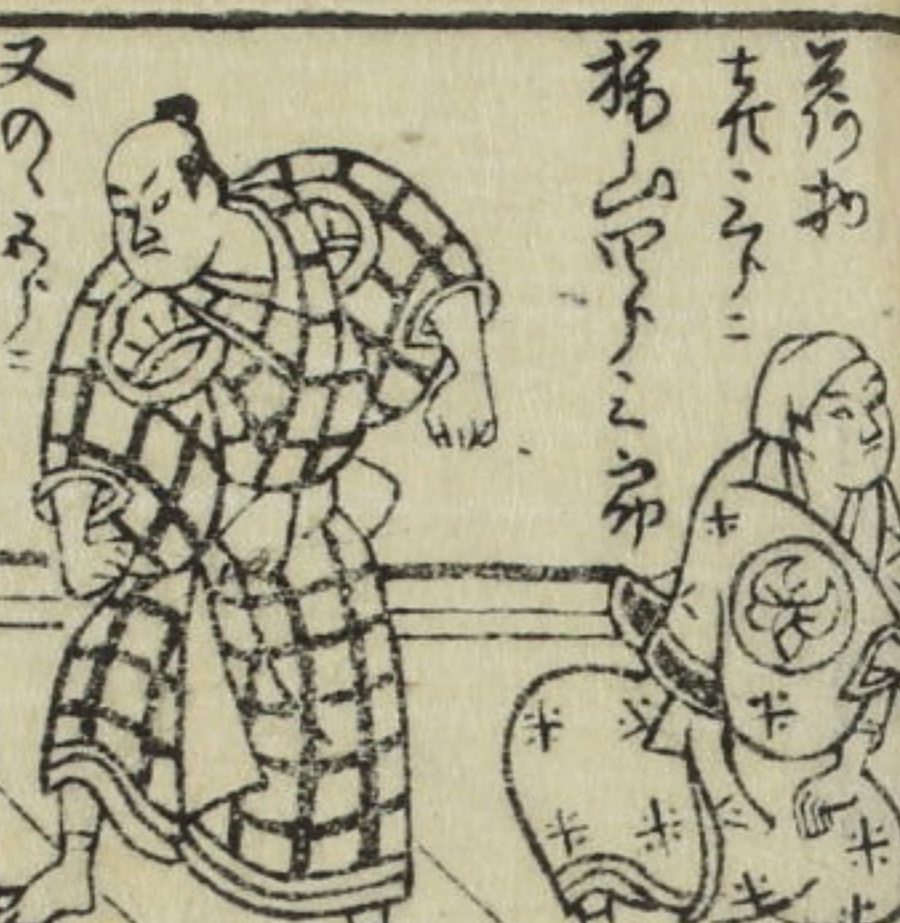
尾座  
 尾座  
 尾座



尾座  
 尾座  
 尾座



尾座  
 尾座  
 尾座



尾座  
 尾座  
 尾座



尾座  
 尾座  
 尾座



尾座  
 尾座  
 尾座

尾座  
 尾座  
 尾座



1. 神は天に在りて人を治すべし  
 2. 人神の御心を以て天を奉るべし  
 3. 天の御心を以て人を治すべし  
 4. 神は天に在りて人を治すべし  
 5. 人神の御心を以て天を奉るべし  
 6. 天の御心を以て人を治すべし  
 7. 神は天に在りて人を治すべし  
 8. 人神の御心を以て天を奉るべし  
 9. 天の御心を以て人を治すべし  
 10. 神は天に在りて人を治すべし  
 11. 人神の御心を以て天を奉るべし  
 12. 天の御心を以て人を治すべし  
 13. 神は天に在りて人を治すべし  
 14. 人神の御心を以て天を奉るべし  
 15. 天の御心を以て人を治すべし

上上吉... 又吉... 又吉...

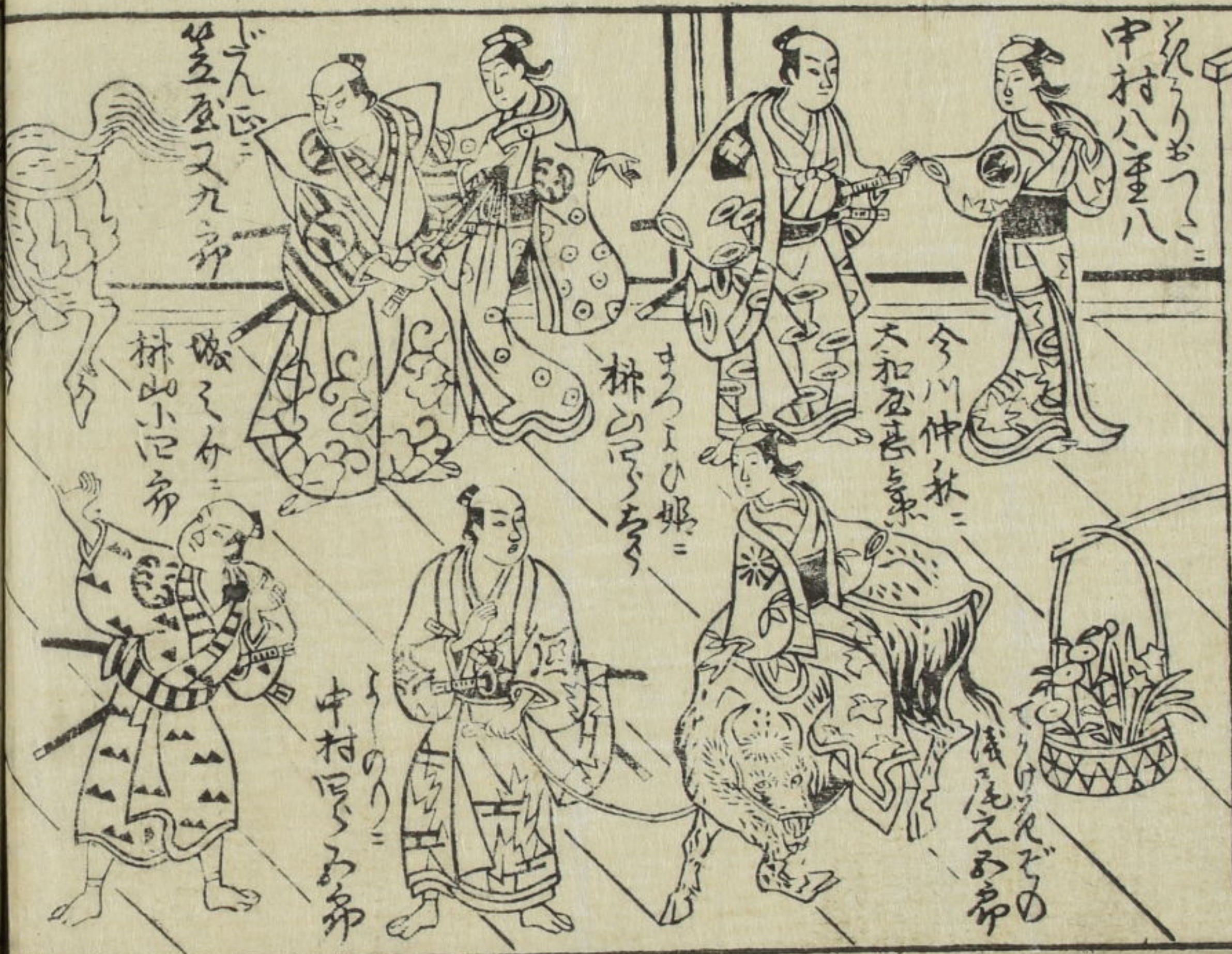


上吉 回市川卷終 保發

諸君の御覧の如く此の巻は...  
[Handwritten text in cursive style]

諸君の御覧の如く此の巻は...  
[Handwritten text in cursive style]

時代後志書卷  
 三番續  
 中村庄  
 中村八重八













三番續  
二 麟朝日栴  
三月九日  
市川團扇



和田  
大でけ



大谷



山中



大谷



志田



大でけ



村松



大でけ



市川

市川團扇

市川





Handwritten text in a cursive script, likely a letter or official document, covering the right page of the manuscript.

寶西之部

撫書 蜀七又帛 中府

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or official document, covering the left page of the manuscript.

と書かすのては、（一）書かすは、下まを、（二）新まを、  
既にか、（三）神、（四）た、（五）る、（六）海、（七）か、  
も、（八）神、（九）た、（一〇）下、（一一）た、（一二）た、（一三）た、（一四）た、  
た、（一五）た、（一六）た、（一七）た、（一八）た、（一九）た、  
た、（二〇）た、（二一）た、（二二）た、（二三）た、（二四）た、  
た、（二五）た、（二六）た、（二七）た、（二八）た、（二九）た、  
た、（三〇）た、（三一）た、（三二）た、（三三）た、（三四）た、  
た、（三五）た、（三六）た、（三七）た、（三八）た、（三九）た、  
た、（四〇）た、（四一）た、（四二）た、（四三）た、（四四）た、  
た、（四五）た、（四六）た、（四七）た、（四八）た、（四九）た、  
た、（五〇）た、（五一）た、（五二）た、（五三）た、（五四）た、  
た、（五五）た、（五六）た、（五七）た、（五八）た、（五九）た、  
た、（六〇）た、（六一）た、（六二）た、（六三）た、（六四）た、  
た、（六五）た、（六六）た、（六七）た、（六八）た、（六九）た、  
た、（七〇）た、（七一）た、（七二）た、（七三）た、（七四）た、  
た、（七五）た、（七六）た、（七七）た、（七八）た、（七九）た、  
た、（八〇）た、（八一）た、（八二）た、（八三）た、（八四）た、  
た、（八五）た、（八六）た、（八七）た、（八八）た、（八九）た、  
た、（九〇）た、（九一）た、（九二）た、（九三）た、（九四）た、  
た、（九五）た、（九六）た、（九七）た、（九八）た、（九九）た、  
た、（一〇〇）た、

種をたぎらしてゐる人達が

お花をかき、お花をかき、お花をかき

てたてたてたてたてたてたてたてたて

たてたてたてたてたてたてたてたて

たてたてたてたてたてたてたてたて

たてたてたてたてたてたてたてたて

たてたてたてたてたてたてたてたて

たてたてたてたてたてたてたてたて

たてたてたてたてたてたてたてたて

たてたてたてたてたてたてたてたて

たてたてたてたてたてたてたてたて

たてたてたてたてたてたてたてたて

たてたてたてたてたてたてたてたて

たてたてたてたてたてたてたてたて

たてたてたてたてたてたてたてたて

たてたてたてたてたてたてたてたて

たてたてたてたてたてたてたてたて

たてたてたてたてたてたてたてたて

たてたてたてたてたてたてたてたて

たてたてたてたてたてたてたてたて

たてたてたてたてたてたてたてたて

たてたてたてたてたてたてたてたて

たてたてたてたてたてたてたてたて

たてたてたてたてたてたてたてたて

たてたてたてたてたてたてたてたて

たてたてたてたてたてたてたてたて

たてたてたてたてたてたてたてたて







▲ 敬後之部

上書 ① 大長廣八 修覽

長廣 八 修覽

と云ふの事... 敬後の事... 敬後の事... 敬後の事...

敬後の事... 敬後の事... 敬後の事... 敬後の事...

敬後の事... 敬後の事... 敬後の事... 敬後の事...

敬後の事... 敬後の事... 敬後の事... 敬後の事...

敬後の事... 敬後の事... 敬後の事... 敬後の事...

敬後の事... 敬後の事... 敬後の事... 敬後の事...

敬後の事... 敬後の事... 敬後の事... 敬後の事...

上上 ② 敬後之部 尾注

敬後 之部 尾注

敬後の事... 敬後の事... 敬後の事... 敬後の事...

中分家... 本初子... 已... 各... 今...  
中分家... 本初子... 已... 各... 今...  
中分家... 本初子... 已... 各... 今...

上上言 今也二三等 一...  
上上言 今也二三等 一...

上上言 今也二三等 一...  
上上言 今也二三等 一...

村... 足... 口... 足...  
村... 足... 口... 足...  
村... 足... 口... 足...

上上 御山院官邸 保...  
上上 御山院官邸 保...

上上 御山院官邸 保...  
上上 御山院官邸 保...

わが心もあはれなりけり  
のぼるくちのうらやまは  
あはれなりけり  
あはれなりけり  
あはれなりけり  
あはれなりけり  
あはれなりけり  
あはれなりけり  
あはれなりけり  
あはれなりけり  
あはれなりけり

上上



藤原朝臣

▲乃布之部

上上



大云石

わが心もあはれなりけり  
のぼるくちのうらやまは  
あはれなりけり  
あはれなりけり  
あはれなりけり  
あはれなりけり  
あはれなりけり  
あはれなりけり  
あはれなりけり  
あはれなりけり  
あはれなりけり

▲花東之部

上上



氏清子

わが心もあはれなりけり  
のぼるくちのうらやまは  
あはれなりけり  
あはれなりけり  
あはれなりけり  
あはれなりけり  
あはれなりけり  
あはれなりけり  
あはれなりけり  
あはれなりけり  
あはれなりけり

上上



花隈留しぬ中村

隆慶元年九月廿五日

上



花牛初三節 隆慶

隆慶元年九月廿五日

花牛初三節

隆慶



中村信十郎 尾花

隆慶元年九月廿五日

隆慶元年九月廿五日

隆慶元年九月廿五日

隆慶元年九月廿五日

隆慶元年九月廿五日

隆慶元年九月廿五日

隆慶元年九月廿五日

隆慶元年九月廿五日

隆慶元年九月廿五日

隆慶元年九月廿五日

隆慶元年九月廿五日

隆慶元年九月廿五日

隆慶元年九月廿五日

隆慶元年九月廿五日

隆慶元年九月廿五日

隆慶元年九月廿五日

隆慶元年九月廿五日

隆慶元年九月廿五日

隆慶元年九月廿五日

隆慶元年九月廿五日

隆慶元年九月廿五日









の申しは... 後藤... 下... 秋... の... 土... 上... 上吉

の... 下... 秋... の... 土... 上... 上吉... 秋... の... 土... 上... 上吉

上吉 ○ 中村八

上吉 ○ 花川市之助 丙午

上吉 ○ 花川市之助 丙午



上  
 〇  
 〇  
 〇  
 〇

上

〇  
 〇  
 〇  
 〇

〇  
 〇  
 〇  
 〇

上

〇  
 〇  
 〇  
 〇

上

〇  
 〇  
 〇  
 〇

〇  
 〇  
 〇  
 〇

〇  
 〇  
 〇  
 〇

〇  
 〇  
 〇  
 〇

上

〇  
 〇  
 〇  
 〇

〇  
 〇  
 〇  
 〇

〇  
 〇  
 〇  
 〇

上

〇  
 〇  
 〇  
 〇

〇  
 〇  
 〇  
 〇

〇  
 〇  
 〇  
 〇

〇  
 〇  
 〇  
 〇

上

〇  
 〇  
 〇  
 〇

〇  
 〇  
 〇  
 〇

〇  
 〇  
 〇  
 〇

〇  
 〇  
 〇  
 〇

上

〇  
 〇  
 〇  
 〇

〇  
 〇  
 〇  
 〇

〇  
 〇  
 〇  
 〇

〇  
 〇  
 〇  
 〇

Handwritten text in a cursive script, likely a continuation of a narrative or a list of items. The text is densely packed and covers most of the page.

▲ 乃 危 形 之 部

上 古 ① 尚 二 右 弟 門 社 卒

Handwritten text in a cursive script, continuing from the previous page. It includes several lines of text, some with circled characters and some with boxed characters.

上 ① 水 乃 古 之 部 凡 凡  
上 ② 依 弟 門 十 右 日 凡

於後世其卷終

聖上吉<sup>○</sup>神也小四等一書身

<sup>○</sup>於後世其卷終

紙の<sup>○</sup>於後世其卷終

其<sup>○</sup>於後世其卷終

極<sup>○</sup>於後世其卷終

本<sup>○</sup>於後世其卷終

去<sup>○</sup>於後世其卷終

於<sup>○</sup>於後世其卷終

と<sup>○</sup>於後世其卷終

と<sup>○</sup>於後世其卷終

ひ<sup>○</sup>於後世其卷終

か<sup>○</sup>於後世其卷終

ひ<sup>○</sup>於後世其卷終

を<sup>○</sup>於後世其卷終

は<sup>○</sup>於後世其卷終

出<sup>○</sup>於後世其卷終

と<sup>○</sup>於後世其卷終

と<sup>○</sup>於後世其卷終

り<sup>○</sup>於後世其卷終

今<sup>○</sup>於後世其卷終

る<sup>○</sup>於後世其卷終

と<sup>○</sup>於後世其卷終

状<sup>○</sup>於後世其卷終

る<sup>○</sup>於後世其卷終

の<sup>○</sup>於後世其卷終

公<sup>○</sup>於後世其卷終

行<sup>○</sup>於後世其卷終

出<sup>○</sup>於後世其卷終

出<sup>○</sup>於後世其卷終

小のしるしをわたりては、  
 出さぬ、うへに、  
 もとのまゝのまゝとて、  
 あり、  
 海神とて、  
 ひとのまゝを、  
 忍び、  
 付、  
 こゝろ、  
 と、  
 八、

寛安元年

己卯三月吉日

五、  
 正、  
 八、

役者大籠形

大坂之巻

帳簿のてしと

目錄

金成布乞ハ

細夏小

より仕合



大坂之巻

大坂之巻

大坂之巻

枝あし

のりれ

森の家

大まきての

竹乃

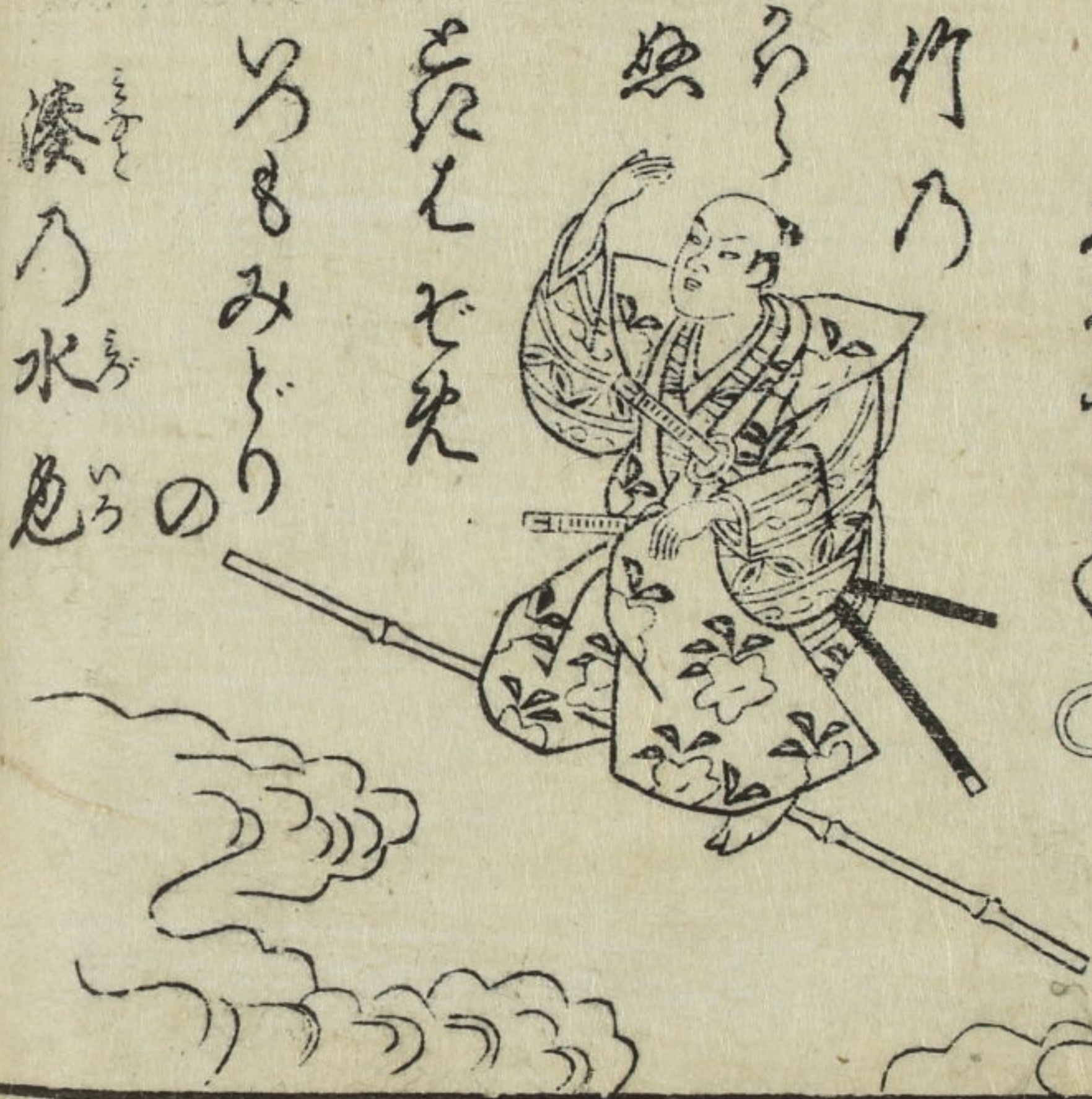
ろ

無

とれとせ先

りもみどりの

湊乃水色



大坂三ツ橋筋新橋若田源

急代渡屋たをる門 唐平花三又高

急代大坂をる門 唐平坂東を三高

○あきつりしきりかやふありの

▲立波之末

オ上吉 婦川新屋市 三言

ゆや板めぬのん様いあまら

上上吉 嵐三十席 日元

あざかりふるはらりのりやう

上上吉 坂東を三高 唐平

地ぞりの突八舞ふととて持

上上 中村おを岩門 唐平

ねぞや洞あひけぬのりやう

上上 沢村言次 日元

龍の葉小丸方強のこふ

上上 山本小糸次 言元

板のゆきあつとまのこりあまの



上上

市村尾治部 三宮

上上

坂回市志部 三宮

上上

市村尾治部 三宮

上上

市村尾治部 三宮

上上

市村尾治部 三宮

上上

市村尾治部 三宮

上上

市村尾治部 三宮

上上

市村尾治部 三宮

上上

市村尾治部 三宮

上上

市村尾治部 三宮

上上

市村尾治部 三宮

上上

市村尾治部 三宮

上上

市村尾治部 三宮

上上

市村尾治部 三宮

上上

市村尾治部 三宮

上上

市村尾治部 三宮

上上

市村尾治部 三宮

上上

市村尾治部 三宮

上上

市村尾治部 三宮

上上

市村尾治部 三宮

上上

市村尾治部 三宮

上上

市村尾治部 三宮

上上

市村尾治部 三宮

上上

市村尾治部 三宮

上上

市村尾治部 三宮

上上

市村尾治部 三宮

上上

市村尾治部 三宮

上上

市村尾治部 三宮

上上

市村尾治部 三宮

上上

市村尾治部 三宮

上上

市村尾治部 三宮

上上

市村尾治部 三宮

上上

市村尾治部 三宮

上上

市村尾治部 三宮

上上

市村尾治部 三宮

上上

市村尾治部 三宮

上上

市村尾治部 三宮

上上

市村尾治部 三宮

上上

市村依地八 牛三

上吉

小波川鬼乗 云云

上上

松崎小付乗 云云

上上

山下六三郎 云云

上

辰園出乗 云云

上上上上上

川原三郎 云云

上上上上上

山下三郎 云云

上上上上上

山八重菊 云云

上上上上上

花桐老野 云云

上上上上上

川原三郎 云云

上上上上上

中村小吉 云云

上上上上上

花桐老野 云云

上上

花桐老野 云云

上

市川三郎 云云

上

鼠及之助 云云

上

鼠 三又郎 云云

か

わんがたふの月のとま

心乃書

本丸をとりし  
繪本等鶴巻 全三冊

右之本追付書仕少書

心采 心後を控てすりし

彩色 心下を  
後本 色者鑑 全二冊

右之本抄本仕有之少書

心采を控てすりし 心采

表々様

心下仕

心采九云書

寛延式二年

正月吉日

心乃書の中の内書

右の本丸をとりし  
繪本等鶴巻 全三冊  
右之本追付書仕少書  
心采 心後を控てすりし  
彩色 心下を  
後本 色者鑑 全二冊  
右之本抄本仕有之少書  
心采を控てすりし 心采  
表々様 心下仕  
心采九云書  
寛延式二年  
正月吉日  
心乃書の中の内書  
右の本丸をとりし  
繪本等鶴巻 全三冊  
右之本追付書仕少書  
心采 心後を控てすりし  
彩色 心下を  
後本 色者鑑 全二冊  
右之本抄本仕有之少書  
心采を控てすりし 心采  
表々様 心下仕  
心采九云書

版下村人の安んずる事なかり  
とて我々利するはなしとて我々も  
奥の津津を天候せしむ難儀の  
傍に由縁の事あるも是は十部  
歌後天の命ありはよしの事  
及舞臺の事も此後とる事  
うそ事とて言はれりては  
ある事なれど其の事なかり  
かゆ事なれど其の事なかり  
時天十日の言舞臺の事  
ありては此後とる事なかり  
つる事なれど其の事なかり  
ありては此後とる事なかり  
ひきまは此後とる事なかり  
その事なれど其の事なかり

とま打つる事なかり  
起す事なれど其の事なかり  
の事なれど其の事なかり  
とる事なれど其の事なかり  
美事なれど其の事なかり  
事なれど其の事なかり  
の事なれど其の事なかり  
長物なれど其の事なかり  
及事なれど其の事なかり  
振事なれど其の事なかり  
事なれど其の事なかり  
とる事なれど其の事なかり  
大坂の事なれど其の事なかり  
白事なれど其の事なかり





出。本年より次第形となり。其の二。三。四。五。六。七。八。九。十。十一。十二。十三。十四。十五。十六。十七。十八。十九。二十。二十一。二十二。二十三。二十四。二十五。二十六。二十七。二十八。二十九。三十。三十一。三十二。三十三。三十四。三十五。三十六。三十七。三十八。三十九。四十。四十一。四十二。四十三。四十四。四十五。四十六。四十七。四十八。四十九。五十。五十一。五十二。五十三。五十四。五十五。五十六。五十七。五十八。五十九。六十。六十一。六十二。六十三。六十四。六十五。六十六。六十七。六十八。六十九。七十。七十一。七十二。七十三。七十四。七十五。七十六。七十七。七十八。七十九。八十。八十一。八十二。八十三。八十四。八十五。八十六。八十七。八十八。八十九。九十。九十一。九十二。九十三。九十四。九十五。九十六。九十七。九十八。九十九。一百。

一。二。三。四。五。六。七。八。九。十。十一。十二。十三。十四。十五。十六。十七。十八。十九。二十。二十一。二十二。二十三。二十四。二十五。二十六。二十七。二十八。二十九。三十。三十一。三十二。三十三。三十四。三十五。三十六。三十七。三十八。三十九。四十。四十一。四十二。四十三。四十四。四十五。四十六。四十七。四十八。四十九。五十。五十一。五十二。五十三。五十四。五十五。五十六。五十七。五十八。五十九。六十。六十一。六十二。六十三。六十四。六十五。六十六。六十七。六十八。六十九。七十。七十一。七十二。七十三。七十四。七十五。七十六。七十七。七十八。七十九。八十。八十一。八十二。八十三。八十四。八十五。八十六。八十七。八十八。八十九。九十。九十一。九十二。九十三。九十四。九十五。九十六。九十七。九十八。九十九。一百。





都の頃... 大... 今... 衆... 二... 必... 何... 二... 也...

村... 此... 何... 二... 也... 大... 衆... 二... 必... 何... 二... 也...



終るるもの通す。後年と云ふは、幼  
少の心を、成す年の、成す心の、成すこと  
トカ。Linnæusの、Linnæusの  
Linnæusの、成すの、成すの、成すの、  
成すの、成すの、成すの、成すの、  
成すの、成すの、成すの、成すの、  
成すの、成すの、成すの、成すの、  
成すの、成すの、成すの、成すの、  
成すの、成すの、成すの、成すの、  
成すの、成すの、成すの、成すの、

下ノ書房...  
第一書房...  
第二書房...  
第三書房...  
第四書房...  
第五書房...  
第六書房...  
第七書房...  
第八書房...  
第九書房...  
第十書房...  
第十一書房...  
第十二書房...  
第十三書房...  
第十四書房...  
第十五書房...  
第十六書房...  
第十七書房...  
第十八書房...  
第十九書房...  
第二十書房...

上吉 ④ 月二十節 三才

三才... 月二十節... 上吉...

三才... 月二十節... 上吉...





桐 豊後守 宗 龍 在



長持坂を去りて西に三石堂を越す所の  
出之雲を登りて北に上りて中野橋  
ありて三人の杖を置きて一程を  
行くと河原に款付の石を置きて  
らるる石の形をわたりて行くと  
多岐の石を置きて河原を  
行くと後井の内を過りて  
中野の石を置きて行くと

上上 山本小平治 長持

長持坂を去りて西に三石堂を越す所の  
出之雲を登りて北に上りて中野橋  
ありて三人の杖を置きて一程を  
行くと河原に款付の石を置きて  
らるる石の形をわたりて行くと  
多岐の石を置きて河原を  
行くと後井の内を過りて  
中野の石を置きて行くと

上上 ⑤ 市井川を過りて

市井川の石を置きて  
長持坂を去りて西に三石堂を越す所の  
出之雲を登りて北に上りて中野橋  
ありて三人の杖を置きて一程を  
行くと河原に款付の石を置きて  
らるる石の形をわたりて行くと  
多岐の石を置きて河原を  
行くと後井の内を過りて  
中野の石を置きて行くと

上上 鹽 坂田市を流す

坂田市の塩を流す。此の塩は、古くから有名で、味もよく、品質も高い。坂田市の塩は、古くから有名で、味もよく、品質も高い。坂田市の塩は、古くから有名で、味もよく、品質も高い。

上上 市村 鬼 泣

市村の鬼泣。此の鬼泣は、古くから有名で、味もよく、品質も高い。市村の鬼泣は、古くから有名で、味もよく、品質も高い。市村の鬼泣は、古くから有名で、味もよく、品質も高い。

▲ 実地見物

上上 〇 斤 忌 仁 方 傳

仁方傳の斤忌。此の斤忌は、古くから有名で、味もよく、品質も高い。仁方傳の斤忌は、古くから有名で、味もよく、品質も高い。仁方傳の斤忌は、古くから有名で、味もよく、品質も高い。







三番侯  
みま重吉公軍  
坂本

玉子様  
辰屋  
村山幸九郎

大木  
大木

大木  
大木

三番侯  
坂本

中村  
中村

大木  
大木

大木  
大木

大木  
大木

大木  
大木

大木  
大木

大木  
大木

大木  
大木

大木  
大木

Small vertical text along the bottom edge of the illustration, likely identifying specific figures or locations.

まはあがれ各々心算力と成る所のも思  
知するに所ありては一編有るは三書  
なるは下ありては二書ありては  
五の附小書ありては二書ありて  
中より一つありては二書ありて  
小書ありては二書ありては二書あり  
舞小ありては二書ありては二書あり  
ち合ありては二書ありては二書あり  
てく書ありては二書ありては二書あり

上上 村山冬九郎 を三九

徳政の書ありては二書ありては二書あり  
茶の書ありては二書ありては二書あり  
久書ありては二書ありては二書あり  
大書ありては二書ありては二書あり  
書ありては二書ありては二書あり

か性ありては二書ありては二書あり  
書ありては二書ありては二書あり  
書ありては二書ありては二書あり  
書ありては二書ありては二書あり  
書ありては二書ありては二書あり

▲乃外形之部

上中 嵐 幼三郎 を三九

上 岩田 冬九郎 を三九

唯 幼三郎 を三九

上上 坂田 冬九郎 を三九

上 小澤 冬九郎 を三九

唯 幼三郎 を三九

まはあがれ各々心算力と成る所のも思  
知するに所ありては一編有るは三書  
なるは下ありては二書ありては  
五の附小書ありては二書ありて  
中より一つありては二書ありて  
小書ありては二書ありては二書あり  
舞小ありては二書ありては二書あり  
ち合ありては二書ありては二書あり  
てく書ありては二書ありては二書あり



云々...  
...

上上 ① 古田...

...

上 ② 市村...

...







麻乃角也

とらたてふと給

光りのをく



ひさ幕乃

さとのやう

江戸三善斎教後者良縁  
さくの 中村勘三郎住  
雪見所 市村松左衛門住  
とらたて 奥田幼経住  
○此の形像物のもてまひは女之宮

大類 市川海老蔵中村住  
いざなわおのいざなわのなはら

至極上吉 沢村長十郎 日住  
いざなわおのいざなわのなはら

●衣衣入の形が原山出のて核  
立役之巻記

本吉 坂東三郎 日住  
あつたつたつたのあつたつた

上上吉 中村七三郎 中村住  
いざなわおのいざなわのなはら

上上吉 大谷廣次 日住  
いざなわおのいざなわのなはら

上上吉 津打口三郎 貞見

上上吉 山本政隆 貞見

上上吉 富沢辰十郎 貞見

上上吉 岩井建隆 貞見

上上吉 市川國重 貞見

上上吉 花井廿三郎 貞見

上上吉 松崎八百蔵 貞見

上上吉 市川重文 貞見

上上吉 市川新三郎 貞見

上上吉 市川金三郎 貞見

上上吉 市川勘三郎 貞見

上上吉 市川勘三郎 貞見

上上吉 市川勘三郎 貞見

上上吉 市川勘三郎 貞見

上上吉 市川勘三郎 貞見

上上吉 市川勘三郎 貞見

上上吉 市川勘三郎 貞見

上上吉 市川勘三郎 貞見

地元の者なりとの事あり

志望不明なりとの事あり

志望不明なりとの事あり

志望不明なりとの事あり

志望不明なりとの事あり

志望不明なりとの事あり

志望不明なりとの事あり

志望不明なりとの事あり

志望不明なりとの事あり

志望不明なりとの事あり

志望不明なりとの事あり

志望不明なりとの事あり

志望不明なりとの事あり

志望不明なりとの事あり

志望不明なりとの事あり

志望不明なりとの事あり

志望不明なりとの事あり

志望不明なりとの事あり

貞見

貞見

貞見

貞見

貞見

貞見

貞見

貞見

貞見

貞見

貞見

貞見

貞見

貞見

貞見

貞見

貞見

貞見

▲実悪之由

白虎のひの神物云々の事

実悪之由

松平重隆 貞見

中村勘三郎 貞見

中村勘三郎 貞見

坂田友十郎 貞見

坂田友十郎 貞見

中村勘三郎 貞見

中村勘三郎 貞見

中村勘三郎 貞見

中村勘三郎 貞見

上吉

市川惣十郎 壽丸  
ひらきあがり一豆夜のみ

上吉

仙石佐十郎 壽丸  
大谷松丸 門 壽丸

上上

文海十郎 壽丸  
坂本又八 日丸

上上

市川宗吉 壽丸  
大井川又彦 壽丸

上上

市川宗吉 壽丸  
市川宗吉 壽丸

上上

市川宗吉 壽丸  
市川宗吉 壽丸

上上

市川宗吉 壽丸  
市川宗吉 壽丸

上上

市川宗吉 壽丸  
市川宗吉 壽丸

上上

市川宗吉 壽丸  
市川宗吉 壽丸

上上

市川宗吉 壽丸  
市川宗吉 壽丸

上上

市川宗吉 壽丸  
市川宗吉 壽丸

上上

市川宗吉 壽丸  
市川宗吉 壽丸

上上

市川宗吉 壽丸  
市川宗吉 壽丸

上上

市川宗吉 壽丸  
市川宗吉 壽丸

上上

市川宗吉 壽丸  
市川宗吉 壽丸

上上

市川宗吉 壽丸  
市川宗吉 壽丸

上上

市川宗吉 壽丸  
市川宗吉 壽丸

上上

市川宗吉 壽丸  
市川宗吉 壽丸

上上

市川宗吉 壽丸  
市川宗吉 壽丸

上上

市川宗吉 壽丸  
市川宗吉 壽丸

本吉 名母形書次  
瀬川島次郎 書次

上吉 大いんのもんをあらふひと  
尾上景之助 書次

上吉 柳づらにたはるゝのぬひ入  
嵐小六 書次

上吉 中村久保之助 書次

上吉 日丸  
日丸 書次

上吉 夜ふたふあ  
夜ふたふあ 書次

上吉 志進 書次

上吉 嵐 書次

上吉 中村久保之助 書次

上吉 中村久保之助 書次

上吉 中村久保之助 書次

上吉 中村久保之助 書次

上吉 中村久保之助 書次

上吉 中村久保之助 書次

上吉 中村久保之助 書次

上吉 中村久保之助 書次

上吉 中村久保之助 書次

上吉 中村久保之助 書次

一坂田池産 まき 一丈和川産 まき  
 一尾池産 まき 一池田産 まき  
 一依能川産 まき 一三ノ川産 まき  
 一池川産 まき 一池田産 まき  
 一菊川産 まき 一池田産 まき  
 一池田産 まき 一池田産 まき  
 一菊川産 まき 一池田産 まき  
 一菊川産 まき 一池田産 まき  
 一菊川産 まき 一池田産 まき

▲市村産及分

一丈和川産 まき 一市村産 まき  
 一山下産 まき 一池田産 まき  
 一三ノ川産 まき 一池田産 まき  
 一菊川産 まき 一池田産 まき  
 一池田産 まき 一池田産 まき  
 一池田産 まき 一池田産 まき  
 一池田産 まき 一池田産 まき  
 一池田産 まき 一池田産 まき  
 一池田産 まき 一池田産 まき  
 一池田産 まき 一池田産 まき  
 一池田産 まき 一池田産 まき  
 一池田産 まき 一池田産 まき

▲表田産及分

一池田産 まき 一池田産 まき  
 一池田産 まき 一池田産 まき  
 一池田産 まき 一池田産 まき  
 一池田産 まき 一池田産 まき  
 一池田産 まき 一池田産 まき  
 一池田産 まき 一池田産 まき  
 一池田産 まき 一池田産 まき  
 一池田産 まき 一池田産 まき  
 一池田産 まき 一池田産 まき  
 一池田産 まき 一池田産 まき  
 一池田産 まき 一池田産 まき

▲名産池産

一上吉 依能川市産 まき  
 一上上 尾三市産 まき  
 一上上 池田産 まき  
 一上上 池田産 まき

上上 遊中島次席 表四  
坂東修三席 日丸

▲子役之部

上上吉 山本岩之忠 日丸

まにがらんの日丸

上上 三條勲之席 日丸

上上 中村中彦 日丸

上上 中村門十席 日丸

上上 生島清之席 日丸

上上 嵐 九八 中丸

上上 山幸彦之席 日丸

上上 一のや三又助 日丸

上上 三條龜之席 日丸

○板のりやまき方五役は村今朝十と云  
国十月十日宿の舟連の舞臺事  
七の改書附あわれた日録云々市山  
けん京中へは村まき方と申す後か  
にたへちまき方と申すとも作道なり

名どりのひねり下は板のり十と云  
舞臺事 中村勲三席 日丸

と云しどりのらぬいりり

上上吉 中村信九席 日丸

えんらんぞろのえんらん

本上吉 市村信九席 日丸

やまき方と云しどりの

上上吉 市村信九席 日丸

あや比の信九と云し

舞臺事 表回勲三席 日丸

まにがらんの日丸

いと




















 安永字五家物語  
 口番續  
 中村屋

あめのり  
派村小僧次

うぐい  
中村修五郎



大どけ  
女ごとの心  
すきはあやめ



あめのり  
市川宗三郎

なごころ大目  
鳴んやんやん



えん長三  
市川海老蔵



空後のうま  
派村長十郎  
大あや



すし子おむ  
中村久三郎



市川宗三郎



大どけ



石川光之  
中橋あきら



大あや



せ川あきら

あんのん  
市川あびる



たのふん  
派村お千代



あひる  
中村あきら



大どけ

もつゝの事あるは言ひの事難くはあつ  
しむし三つあるの事難きよしとてびり  
りたてまつりては海ありははの國大  
はあふらひは繁くある事難きなり  
二役とては海ありははの國大  
りしむし難きなりとて難くはあつ  
難きの事ありははの國大なり  
わつゝの事ありははの國大なり  
千のさひは海ありははの國大  
也とては繁くある事難きなり  
なりとては繁くある事難きなり  
たれがひひあつ

義士吉の<sup>①</sup>沢村長十郎

もつゝの事あるは言ひの事難くはあつ  
しむし三つあるの事難きよしとてびり  
りたてまつりては海ありははの國大  
はあふらひは繁くある事難きなり  
二役とては海ありははの國大  
りしむし難きなりとて難くはあつ  
難きの事ありははの國大なり  
わつゝの事ありははの國大なり  
千のさひは海ありははの國大  
也とては繁くある事難きなり  
なりとては繁くある事難きなり  
たれがひひあつ







味の先内れ...  
...  
...  
...  
...

上吉 ☆ 津打門三郎

...  
...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...  
...

上吉 山守宗常師

...  
...  
...  
...  
...

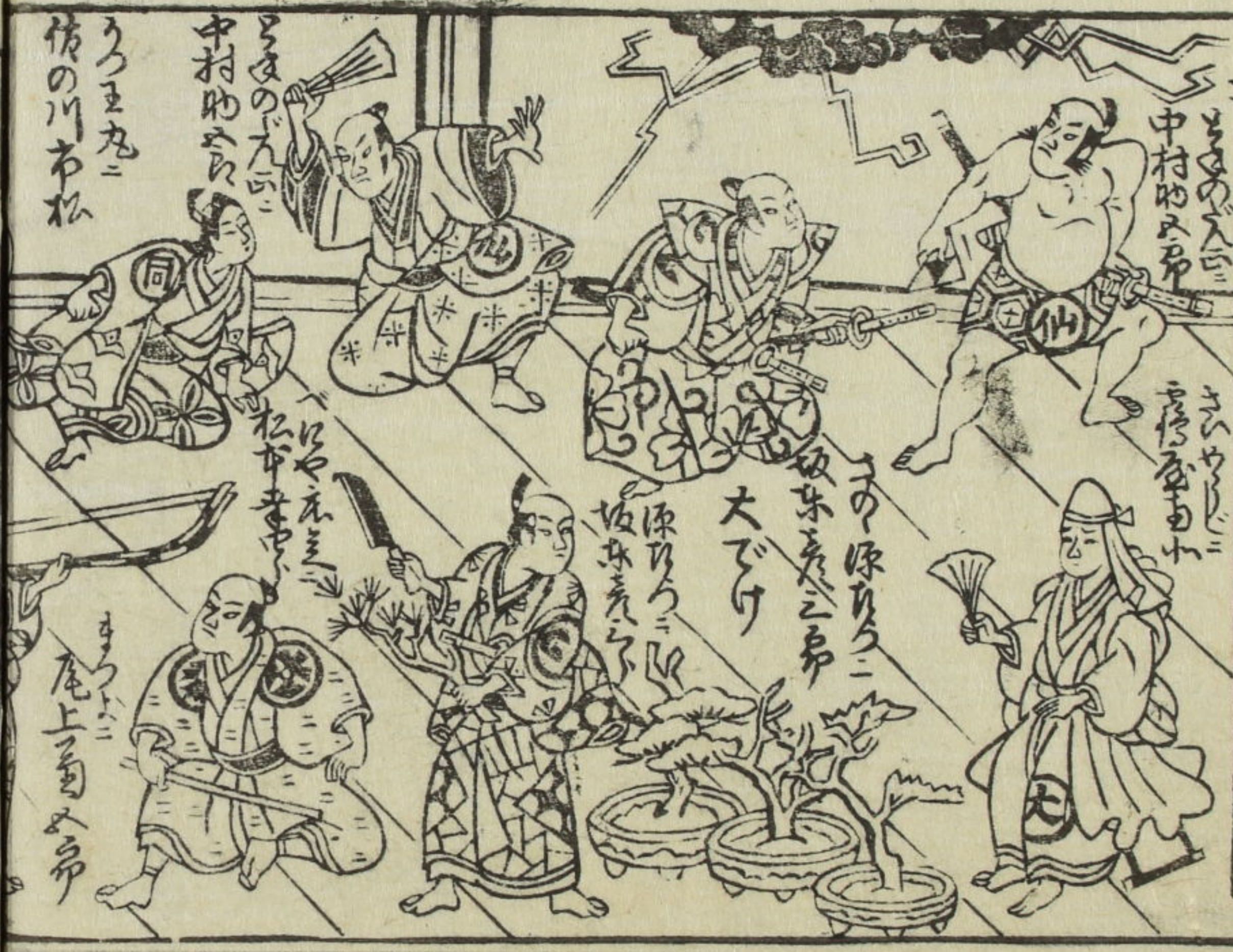
...  
...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...  
...


  
**故下偽子執新本**
  
かろりてしゆんがふえちのこ
  
せせりししゆんがふえちのこ
  
 四番候
   
 市村在



うつ丸  
 傍の川市松

まつたに  
 尾上角五郎

中村助之助

松本幸次

大でけ

坂本三郎

大でけ

坂本三郎

大でけ

坂本三郎



玉月ひめ  
 玉波文三郎

大でけ

春柳  
 松本幸次

大でけ

大でけ

大でけ

大でけ

大でけ

大でけ

大でけ

尾上角五郎

我々が此の世に在りては神の御心  
を以てして生かされしを以てして  
神の御心に従ふべきに在りて  
神の御心を以てして生かされし  
神の御心を以てして生かされし  
神の御心を以てして生かされし

上書 神の御心を以てして生かされし

神の御心を以てして生かされし  
神の御心を以てして生かされし  
神の御心を以てして生かされし  
神の御心を以てして生かされし  
神の御心を以てして生かされし  
神の御心を以てして生かされし  
神の御心を以てして生かされし  
神の御心を以てして生かされし  
神の御心を以てして生かされし  
神の御心を以てして生かされし

上書 神の御心を以てして生かされし

神の御心を以てして生かされし  
神の御心を以てして生かされし  
神の御心を以てして生かされし  
神の御心を以てして生かされし  
神の御心を以てして生かされし  
神の御心を以てして生かされし  
神の御心を以てして生かされし  
神の御心を以てして生かされし  
神の御心を以てして生かされし  
神の御心を以てして生かされし




乃の事親友の事... 此の事... 此の事...

上上回 市川金三郎 中村元

及丹波の事... 此の事...

上 乃本九十郎 長見

上  松平七郎 日丸

及乃本... 此の事...

乃本... 此の事...

松平... 此の事...

乃本... 此の事...

▲実忠記

実忠の事

上吉 市川金三郎 中村元

乃本... 此の事...

乃本... 此の事...

乃本... 此の事...

乃本... 此の事...

乃本... 此の事...

乃本... 此の事...

乃本... 此の事...

乃本... 此の事...

乃本... 此の事...

乃本... 此の事...

乃本... 此の事...

乃本... 此の事...

乃本... 此の事...

乃本... 此の事...

乃本... 此の事...

乃本... 此の事...

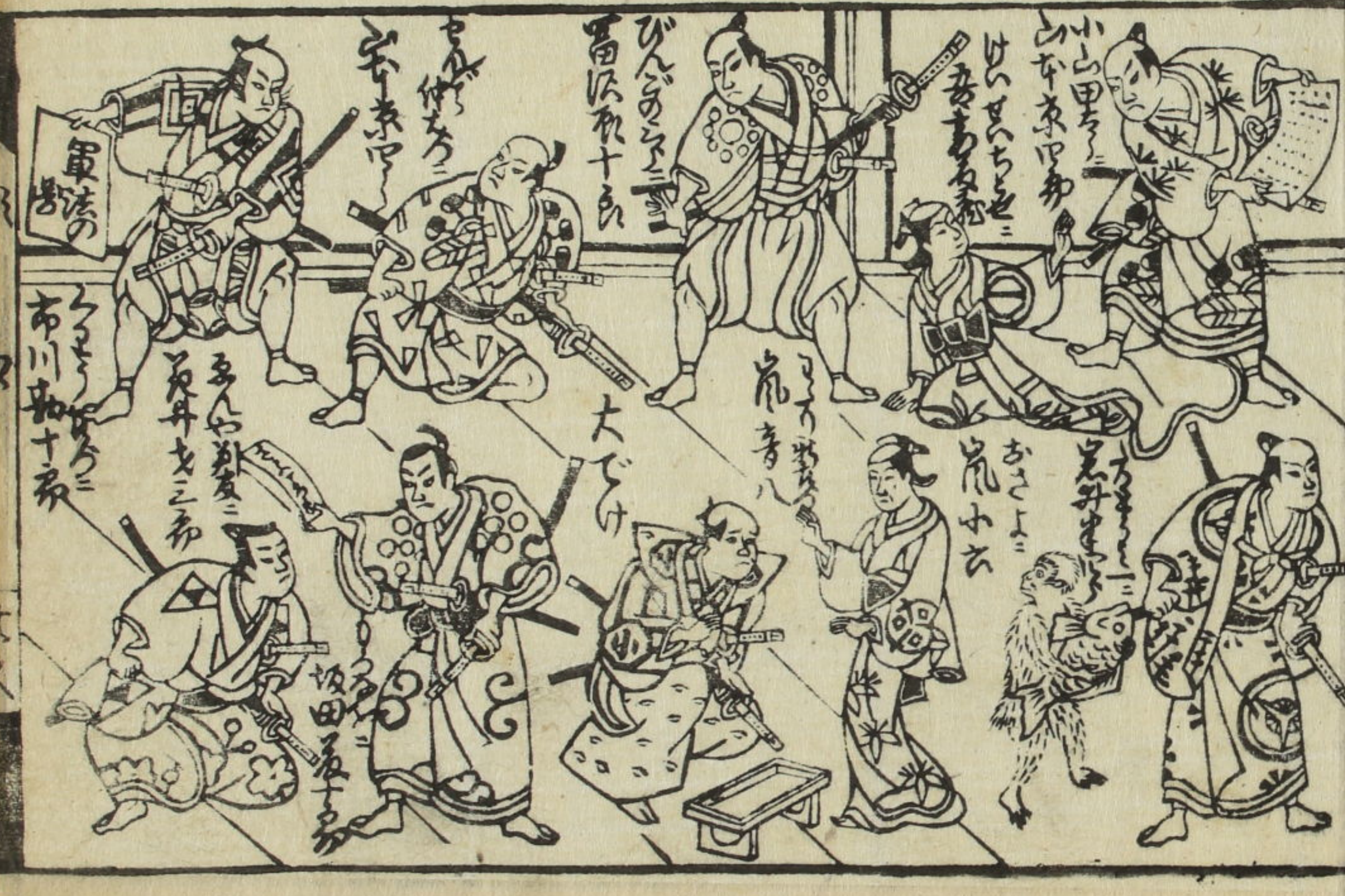
乃本... 此の事...

乃本... 此の事...






 多丹有野内程  
 多丹有野内程  
 多丹有野内程



Handwritten text in a cursive style, likely a letter or official document. The text is dense and covers most of the page.

上書 〓 坂田方十郎 再拜

Handwritten text, possibly a signature or a specific address, written in a cursive style.

上書 〓 尾見宗徳 再拜

Handwritten text, possibly a signature or a specific address, written in a cursive style.

▲ 殿後部

上吉 〓 中島初太郎 再拜

Handwritten text at the bottom of the page, possibly a signature or a specific address, written in a cursive style.









出物... 形... 七...

よひ

本吉 芳次 あり

... 芳次 あり ... 芳次 あり ... 芳次 あり ...

本吉 浪川 景法 郎 中村 亮

... 浪川 景法 郎 ... 中村 亮 ...













白澤に居るはひのり公をたのむに  
次女重の女御を嫁にせむと云ふ事  
申さるるに申すに申すに申すに  
申すに申すに申すに申すに  
申すに申すに申すに申すに  
申すに申すに申すに申すに  
申すに申すに申すに申すに  
申すに申すに申すに申すに

上上 依地川の海 多村  
上上 長壽寺の海 長壽寺  
上上 沢村の海 中村

切に申し申すに申すに申すに  
申すに申すに申すに申すに  
申すに申すに申すに申すに  
申すに申すに申すに申すに  
申すに申すに申すに申すに  
申すに申すに申すに申すに  
申すに申すに申すに申すに  
申すに申すに申すに申すに

上上 揚山清光の海 多村  
上上 長壽寺の海 長壽寺  
上上 沢村の海 中村  
上上 依地川の海 多村  
上上 長壽寺の海 長壽寺  
上上 沢村の海 中村  
上上 依地川の海 多村  
上上 長壽寺の海 長壽寺  
上上 沢村の海 中村

▲ 元元形之部

上上吉 同 依地川の海 多村  
上上吉 同 長壽寺の海 長壽寺  
上上吉 同 沢村の海 中村

付ある事... 海女... 船... 中... 日...

上上 風二白帛 中村

上上 池中とんて 日...

上 池中志保 日...

○ 坂本修三郎 日...

▲子波津

上吉 山女衣更虫 日...

○ 池田...

○ 池田...

○ 池田...

○ 池田...

上上 二条物 日...

上上 中村中 日...

○ 池田...

○ 池田...

上 中村 日...

上 池田...

上 小嵐 九八 寅月

陰 口よりなる風は夜に甚しく  
九八は後月よりなる風は夜に甚しく



山中より吹く風

上 一昨日より吹く風

上 三本松より吹く風

陰 徳島より吹く風は夜に甚しく

後より吹く風は夜に甚しく

及ぶ分は南風は夜に甚しく

陰 甲村より吹く風

上 上吉 兼 中村より吹く風

陰 湯島より吹く風は夜に甚しく

及ぶ分は南風は夜に甚しく

後より吹く風は夜に甚しく

前討を以てわが吉程に候はば

此後より言ふ事なき事あり候

物も候事なき事候事なき事

此より言ふ事なき事候事

なき事候事なき事候事

此より言ふ事なき事候事

なき事候事なき事候事

此より言ふ事なき事候事

なき事候事なき事候事

本上吉 市村より吹く風


陰 徳島より吹く風は夜に甚しく

及ぶ分は南風は夜に甚しく

後より吹く風は夜に甚しく

及ぶ分は南風は夜に甚しく

此書の巻の初めに文の源を記す  
其の巻の初めに文の源を記す

上上吉  市村 忠 彦 為 美

 市村 忠 彦 為 美

此の巻の初めに文の源を記す

此の巻の初めに文の源を記す

此の巻の初めに文の源を記す

此の巻の初めに文の源を記す

此の巻の初めに文の源を記す

此の巻の初めに文の源を記す

此の巻の初めに文の源を記す

此の巻の初めに文の源を記す

此の巻の初めに文の源を記す

此の巻の初めに文の源を記す

此の巻の初めに文の源を記す

此の巻の初めに文の源を記す

二軒合板



